

日根野中だより

令和6年2月13日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

「今」を大切に生きる…

「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る。」と言われる通り、その言葉通りを実感できる二月なのではないでしょうか…。2月は29日までしかないので、瞬く間に「逃げる」ように過ぎ去ってしまいます。本当に同じ時間なのかと感じるほど…。3月に入れば、社会全体としても年度末、決算期と重なり慌ただしく動き、「去る」ように時間が過ぎていく…。だからこそ…まだ先が見えにくい今だからこそ、改めて「今」を大切に生きる…今を充実させていくことが大事なのではないでしょうか…。目の前の**小事**に全力で取り組む…これが**大事**の達成へとつながっていきます。「今この一瞬を全力で！」…がんばっていきましょう！

結果ははたして…
人生に感動
大事なことは
何をどう手に入れたか…
どんな気持ち
感動したか…だと思っ
てはなく

命(いのち)を使う…「使命」とは…？

生活にいろんな制約がなくなりつつある今…それでも様々な苦難を抱え、それでも前を向いてがんばってテスト勉強…3年生は進路決定に向けて力を注いでいます…。目には見えないうところで、思い悩み、苦しんでいる…私たち大人も、同じような苦しみは、もちろんありますが、やはり気になるのは、みんなの**健康・命**…。これをどのようにして支え、励まし、声かけしていけばいいのか…？本当に難しい問題だと思う…。

ただ人間は生き方を選ぶ力を持っている唯一の生き物。自分の意志で生き方をどのようにでも運んでいくことができる力を持っているため、しっかりと知識や考えを持たないと大変なことになってしまう…。だから、周囲の大人…保護者のみなさんや地域の方、先生方は、見守り、励まし、時には叱ることがあるのです…。でもそれらはすべて、みんながよりよく人生を歩んでほしいと思うが故の言葉なのだということです。今、自分がここに生きていることの偶然性…、誰もが持つ命は限りがあるという有限性…、先祖から受け継ぎ、今に

至り、子孫へ受け渡す連続性…、自分は他の誰でもない唯一無二の存在…。自分自身が、そんな大切な命を預かっている「存在」だと気づかなければいけません。

使命という言葉があります。「命を使う」これは自分のために、人のため、社会のために、何らかの命(めい)を与えられて生きていくこと。その命を預かり、今の自分の役割において、毎日を苦しみながらも、生き生きと生活していかなければならない…これを深く理解してほしいと思います…。

本当に大変な毎日だとは思いますが、一呼吸おいて、しっかり考えれば何とかなることばかり…。ひとつ一つ整理していけばすべて何とかなるものです…。何よりみんなの健康・命が大事…声かけ合ってがんばっていきましょう！

「反省」を明日へ…「反省」は「後悔」ではない…

「あの時の判断が…」 「こうしておけばよかった…」 など、思い悩むばかりでは、次の一歩を前向きに踏み出すことが出来ません…。「不完全な自分」を自覚して「不完全な他人」を受け入れ、その上で共に前向きに歩んでいくための力を生み出す…それが「反省」だと思います…。

私は誰かに意見され、素直に受け入れられないことが、恥ずかしながらよくあります…。でも、その勇氣ある意見は、実は何よりも自分のことを考えた、有り難いものであることに気づき毎回反省しています…。この受験勉強に追われる中、そんな「敢えての忠告」をしてくれる人…本当に貴重な存在ですね…。気づいていますか？…

日々自分を冷静に省みる…そんな積み重ねが心を成長させ、周囲の人たちとより良い関係を築いていく力になる…。周囲の意見を素直に聞き入れ、冷静に自分を判断し、反省につなげていく…。これがよりよく生きる基本…。肝に銘じておきたいですね…。

「涙は心の汗だ…！」 流汗悟道

「汗をかこう…！」 「共に涙を流そう！」 …「そんな時代じゃないよ！」と言われそうですが…その「汗」や「涙」の意味を考える…

やる気のない人に、やる気スイッチを入れさせるためには一体何が必要なのか？…それは、すべてのものを引き寄せ、溶かし込み、吸収する手伝いをする「水」「水気」…これこそ「涙」「汗」…それらによって先生方の言葉・熱意・思いが子どもたちの心に染みわたり、心を大きく変えていく…「やる気スイッチ・ON」…

そう考えると、今は昔の青春を語る言葉…「涙は心の汗だ！」こそが 真実なのだと感じますが…どうでしょうか？